

「情報機器」を
活かす

+ 「不要品」を
活かす

事例

1

化学・機械業

PC 入替時に毎月 50 抱点の回収買取



検討課題

200 社以上をかかるグループ企業。
全国に 3,000 の拠点が点在しており、
合計 7 万台以上も PC を保有。

Windows7 の EOS (エンドオブサポート) に伴う Windows10 への入替を、
傘下の SIer グループ企業がプロジェクト化しており、入替後の Windows7
機器の処置もスムーズかつ適切に完了
させる必要があった。

3 千拠点 7 万台の PC 入替え
プロジェクトが進行していた

現地でメーカー・型番・シリアル・資産番号を確認し、
リストと照合して漏れなく 3 千拠点から回収

解決

先方の入替えプロジェクトチームが新品 Windows10PC への入替
を終了させた後に、入替えされた旧 PC のリストと現物に間違
いかないか、当社が現地で確認。相違がある場合にはその場で報告し、
買取・回収対象品として改めて管理シールを貼付け。

その後プロジェクトチームからの回収日程調整を待って、当社が管
理シールを貼り付けた PC を現地に回収訪問。数と機種と管理番号
を改めてその場でカウントし、仮受領書を発行してセキュリティト
ラックで回収。

回収した Windows7PC がテクニカルセンター着荷後に検品して、
最終となる照合作業から受領書を発行。この一連の作業により、
機器の回収漏れと回収機の間違いをゼロに。

検品後はエンタープライズ向けデータ消去ソフト「Blancco」によ
り完全にデータを消去し、企業管理シールも除去してサニタイズ（無
毒化）。

この一連の作業を毎月 50 拠点以上で行っており、2 年間かけた
Windows7 から Windows10 への入替プロジェクトに当社は参加
している。



Windows 7
の EOS 入替え

現地でリストと
現物の照合



中身も外装も
情報を無毒化

POINT

1. 現地確認
2. 回収間違い対策
3. 万全なデータ消去
4. 毎月 50 拠点以上

「情報機器」を
活かす

「不要品」を
活かす

事例

2

新聞社

キャリアより高くスマートフォン買取

営業用スマホ買取、回収、データ消去 3回上書き消去と消去証明書発行



検討課題

記者の営業用に、キャリアから
購入したスマートフォン数千台の
リプレイス時期が迫っていた。

新端末を入れる代わりに下取りを
キャリアへ依頼していたが、
想定していたより下取り金額が
低かった。

端末毎の専用データ
消去ソフトを使用

本部テクニカルセンターで全台データ消去
グループ会社の端末もデータ消去・買取

解決

当社はあらゆる情報機器、メディアに対応した各種消去ツールを
完備しており、PCだけでなく、スマートフォン・タブレットの
買取及びデータ消去サービスを行っている。

新聞社及び記者は、記事の流出や情報漏洩を懸念しており、
当社は対象となるスマートフォンに対して、OS毎の
専門ソフトを使用した「3回上書き消去」を実施。

消去後には、製品シリアル番号と先方の資産管理番号を
1台1台照らし合わせたデータ消去証明書を発行。

当社からの買取金額はキャリアの下取金額よりも高く、データ消去
の安全性と確実性も認められ、本案件後にはグループ会社の
スマートフォン処分も引き受けこととなった。

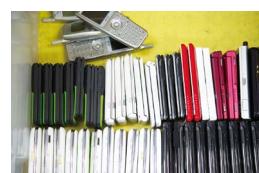
スマートフォン・タブレットもPCと同様に初期化だけでは
データを完全に消去することが出来ず、データを復旧することが
可能である。そのため、データ消去には各OSに適した専用データ
消去ソフトが必要であり、当社では起動しない端末があった場合には、
手作業で中身のメモリ・HDDを抜出し、物理破壊を行っている。

その他本新聞社には、記者向けの取材用PCレンタルも行っている。



データ消去
証明書を発行

起動しないモノは
物理破壊



ガラケーの
データ消去にも対応

POINT

1. スマホ高価買取
2. 3回上書き消去
3. OS毎のデータ消去

「情報機器」を
活かす

+ 「不要品」を
活かす

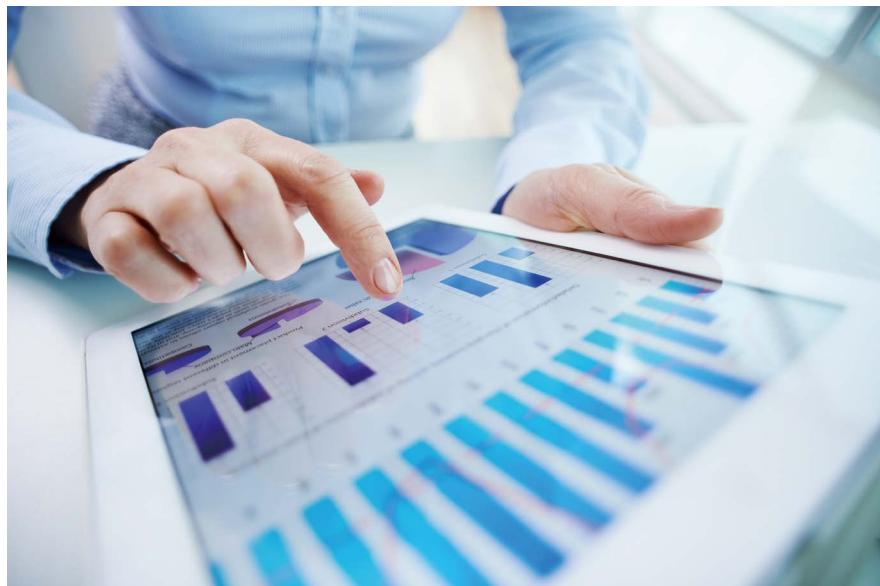
事例

3

金融機関

行員用タブレットのリプレイス買取

各支店の窓口説明用タブレット 3 千台、 復元できない専用ソフトでデータ消去・買取



検討課題

各支店の行員様が窓口でお客様説明用にご利用されていたタブレット端末。

システムの入替えに伴って新機種に移行するため、不要となる購入分とリース分を合わせたタブレット 3 千台をどのように処理するか検討されていた。

調達時の契約の兼ね合いもあり SIM カードの処遇にも悩まれていました。

170 支店 3,000 台の
タブレットリプレイス

リース品と資産品を分別・新機種へのリース継続利用分はデータ消去後に SIM カードを抜き出して返却

解決

各支店への連絡調整事務も引き受けた上で、3,000 台の機器回収と機器名・拠点名・所有者などのお客様情報と回収実機を照合しリスト提出。データ消去と買取・SIM カード抜き取り返却を実施。

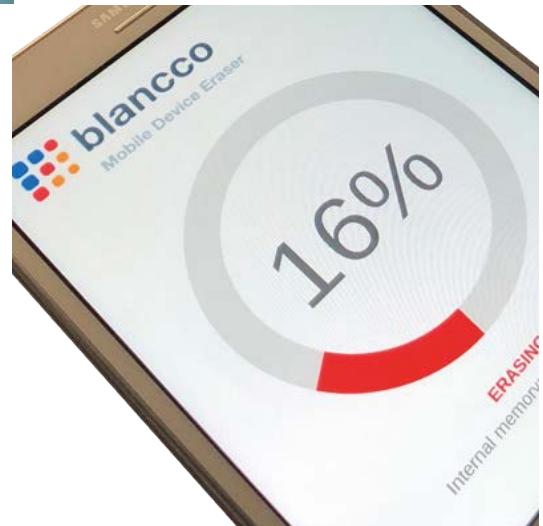
全国 170 支店のご担当者様に直送方法をご連絡し、当社テクニカルセンターへ直送依頼。着荷次第検品し、商品名・型番・管理番号・SIM カードシリアル番号を取得してお客様へリスト報告。

スマートデバイス用の消去ソフト「Blancco Mobile」でタブレットのデータ消去。これによりデバイスの初期化とは違いメモリ内のデータを復元できない状態に。

パスコードも予めいただきしており、パスコードが間違っていたり起動不良等のタブレットは、お客様の希望によりリース品を除き物理破壊によるデータ消去を実施。(メモリーを抜き出して破碎処理)

リース分は SIM カードを抜き取りし、間違いないようシリアル番号と管理番号を突合し、お客様へ機器と共に返却。

総数でのデータ消去完了書と機器毎の処理方法が記載された明細書を提出し、売却分は機器毎の状態を明記した上で買取。



パス解除出来ない
物は物理破壊



SIM カード返却

メモリーの
取り外し処分

1. 機器とリストの照合
2. 専用データ消去
3. メモリー抜出し
4. SIM カード返却

POINT

「情報機器」を
活かす

+ 「不要品」を
活かす

事例

4

保険業

データセンター移転、サーバデータ消去

アンマウント作業含め、30名体制による
オンサイトサーバデータ消去 600台を実現



検討課題

サーバ 600 台が設置されたデータセンターの移転を予定しており、サーバ機器のアンマウント、ラック撤去の他、オートラックの解体及び中にある磁気テープを処分する必要があった。

データセンター移転に伴い OA ラック、机、椅子に至るまで全ての処分を検討していた。

保管している磁気テープを消去し、
オートラックも解体撤去

SE 部隊によるオンサイト
サーバアンマウント & データ消去

解決

当社はサーバアンマウント技術とサーバデータ消去技術を含め記録媒体全てを消去出来る技術体制を備えており、スタッフもデータセンター内の作業に対応している。

更に不要品の撤去・解体・買取・廃棄にも対応しているため、先方の課題を全て解決。

当社がワンストップで全てを対応できるため、煩わしい業者選定、作業範囲や日程の調整、見積・発注業務を大幅に削減。

当社が行った主な作業内容は下記。

- ① サーバデータ消去 600 台 (アンマウント & オンサイト物理破壊)
- ② サーバラック撤去回収
- ③ リースサーバ返却代行
- ④ PC データ消去 300 台 (オンサイト HDD 物理破壊)
- ⑤ オートラック 30 台 解体撤去
- ⑥ 磁気テープ消去 3,000 本 (オンサイト磁気消去)
- ⑦ 机・椅子・OA ラック・雑品数百箱分の撤去回収

30名体制でのオンサイト消去作業と 1週間で計 4t 車 60 台が回収運搬に出動して完遂。



1週間で
60台出動

サーバ
アンマウント



PC300 台も
データ消去

POINT

1. センター内作業
2. アンマウント
3. オンサイト消去
4. 不要品同時撤去

「情報機器」を
活かす

「不要品」を
活かす

事例

5

金融機関

サーバ含め1万アイテムデータ消去

3チーム編成により、万全の体制で
情報機器全てのデータ消去・撤去回収



現地で全ての情報機器を物理破壊し、
破壊前・破壊後の証明写真提出

検討課題

普段は部署毎に細かく情報機器を処分していたが、今回はサーバ・PC・光学メディア等を短期間で大量に同時に処分することとなった。

対象数が約10,000点と多い事から、
どのような対応をすれば高いセキュリティレベルで処分できるか思案していました。

HDD専用の物理破壊機で、
穴を開け復旧不能に



4点穴開け

消去後搬出



サーバラック
撤去

POINT

1. 短期間処理
2. 3チーム編成
3. 一万点物理破壊
4. セキュリティ対処

解決

先方の事業特性上、高いセキュリティレベルで対処するため、機器を搬出せず現場で1万アイテムの情報機器のデータ消去と物理破壊を実施することとした。

短期間で現場処理をするには対象アイテム数が多かったため、万が一のないよう下記3チームを編成し、現地で全ての情報機器の物理破壊・破碎処理を実施。(オンサイト作業)

- ① サーバアンマウント部隊
- ② データ消去部隊
- ③ 搬出部隊

対象物はPC、サーバ、HDD等のメイン情報機器の他、光学メディアのCD、DVD、磁気メディアのFDD、LTO等合計約1万アイテムのデータ消去及び物理破壊を現地で実施。

全ての製品シリアルを取得後、専用の物理破壊機と破碎機で二度とデータを復旧出来ないように処理を施し、破壊前、破壊後の写真を提出。

その他、不要品保管ルームの古いプリンターやLANケーブル等も同時に引取り、廃棄処理。

「情報機器」を
活かす

「不要品」を
活かす

事例

6

保険業

リースアップ品の回収、返却代行



検討課題

全国に 300 抱点が点在している本グループ会社は、PC やサーバ、プリンターをリース品中心に使用していた。

リース品を調達するベンダーとネットワーク関係を構築する通信会社の 2 社が中心となって機器を管理しており、リースアップ時の全国規模での入替回収、データ消去、リース返却までまとめて行える業者を探していた。

世界最高峰の業務用
データ消去ソフト「Blancco」



1 台づつロックを
解除し PC 回収

サーバコンソール
を SE が操作



サーバも
オンサイト消去

POINT

1. リース返却代行
2. 常駐スタッフ
3. 1 社で全作業
4. 100 名体制

PC 回収とサーバアンマウント、
データ消去の上、リース会社へ返却

解決

リースアップ品の PC を自社便で 300 抱点から回収し、当社センターでデータ消去、リース会社へ自社便で返却することを提案。

グループ会社、ベンダー、通信会社との 3 社間の進行調整を含む大規模プロジェクトのため、当社スタッフが先方に数名常駐。

サーバのリースアップ品も数多くあり、サーバアンマウント作業とオンラインサイト（現場）消去を実施し、プリンタや複合機のリース品の回収と先方購入資産である PC の回収・買取まで全て行うこととなつた。

本グループのリースアップ品の入替返却時には、当社が下記作業を中心に行っていている。

- ① PC 回収 → データ消去 → リース会社返却
- ② プリンター / 複合機回収 → データ消去 → リース会社返却
- ③ サーバ回収 → アンマウント → データ消去 → リース会社返却

本社、支社など大きな抱点での回収は、総勢 100 名近くのスタッフを派遣させ作業を実施。

その他、本案件以外にも自社物流と不要品買取機能を活かし、家具・什器の回収と買取、事務所移転に伴う引越しも過去に実施。

「情報機器」を
活かす

+ 「不要品」を
活かす

事例

7

電気設備業

セキュリティカーゴ貸出で定期回収

不要となつた PC をセキュリティカーゴに
保管して施錠。集積完了後にピックアップ



保管室にカーゴを設置して外からしっかり施錠
PC が集まり次第回収し、回収時に新たなカーゴを設置

解決

拠点への回収は毎回少ない数で拠点毎に手配していたため、費用がかさんでおり、拠点担当者と本社情報システム室の間で不要となる対象 PC の管理に行き違いも発生していた。

当社のセキュリティカーゴ貸出サービスは、施錠が出来るセキュリティカーゴをお客様の希望する場所に設置し、お客様の拠点から届く PC をカーゴ内に保管いただきて、集積完了後に電話 1 本で回収訪問するサービスです。

外から施錠したセキュリティカーゴは、お客様ご自身で暗証番号の設定も可能で、当社テクニカルセンター到着後に開錠ナンバーをお伝えいただき始めて開錠となる。

本事例では回収以降にまた PC を集積できるよう回収時に新たなセキュリティカーゴを設置し、集積後の回収と設置を繰り返し行う定期サービス便となっている。

また、回収時にお客様立ち合いの下、現場でデータ消去も行える為、本事例の企業では、回収現場で HDD を抜き出して物理破壊を行っている。通電しない PC は磁気消去装置によってデータを完全に破壊し、データ消去証明書を発行。

本サービスにより拠点担当者と情報システム室の手間を削減している。

検討課題

関東地方を中心に電気設備工事、電力工事等を行っている総合電気設備会社。

徐々に PC を入れ替えるこの企業では、少ない数で PC を回収するのに費用と手間がかかっていた。また入替時に不要となつた情報機器の管理にも手間がかかっていた。

セキュリティカーゴを設置して定期回収を実現



しっかり施錠
暗証番号付き

お客様の PC が
集まり次第回収訪問



定期回収便として
PC 以外も対応可能

POINT

1. 定期回収便
2. 集積後に電話 1 本
3. セキュリティカーゴ
4. PC 以外も定期回収

PC 入替え業務に適したキッティング

マスター機作成からの各種キッティング作業 入替え業務を楽にさせる入出庫管理・手順書作成



検討課題

2,000台分のPCをスケジュール通りに新PCに入替えるキッティング業務を行うには要員が足りず、入出庫される場所とキッティング後の拠点入替えスケジュールに合わせて出荷するまで保管しておく場所も足りなかった。

外部業者を検討したが、一連のキッティング作業費や細かい諸作業に関して業者が消極的でレスポンスも悪かった。

新しい機器の導入時には きめ細やかな対応が必要

荷受け検品お預かりと入出庫管理。型番・シリアル・IP等の管理番号表を作成し、進捗と配布先（担当情報）を共有

解決

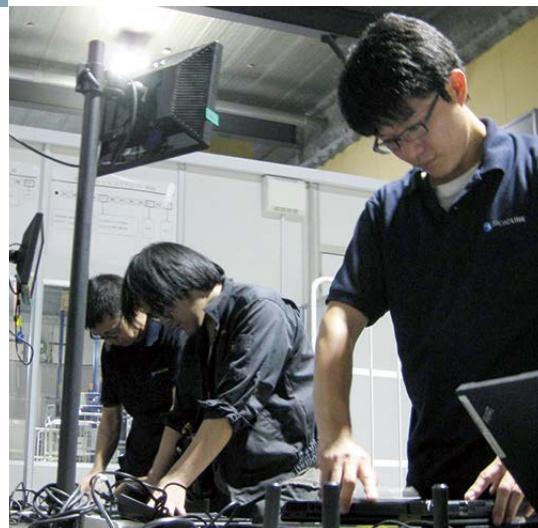
各拠点のリプレイスタイミングに合わせて2年間で2,000台の入出庫管理を含めたキッティング業務を請負。

PCのセットアップはマスター機を当社が作成し、クローニング。個別設定・各種指定ソフトウェアのインストールを実施。ローカルネットワークでなければ入れられないソフトウェアは、お客様のネットワーク回線を当社テクニカルセンターに引き込んでインストール。

お客様が調達するPCの納品先を当社テクニカルセンターで受付。入荷時に機器の検品から型番等の情報を取得し、管理番号も付与。「入荷・検品」→「キッティング」→「利用者への出荷」までの入出庫管理をお客様と共有することにより、お客様の入替え管理業務を大幅に軽減。2年後の入替え終了まで一連のキッティング作業を継続。

□キッティング作業内容

- |-PC荷受けから保管（入替え終了するまで）
- |-機器検品
- |-マスター機作成・クローニング・個別設定・ソフト導入等
- |-型番・シリアル・管理No・IPアドレス・発送先情報（住所・部門名・配布担当者名）の一覧作成
キッティング完了時期、出荷時期を付加し、定期的に上記情報と進捗状況をエンドユーザー様と共有。
- |-管理ラベル作成・貼付け
- |-社員向け手順書作成（起動・設定手順等）



拠点社員用に 手順書作成



別途回線を引いて 顧客の回線と接続

本部TCで 入出庫管理

- POINT
1. マスター作成
 2. 遠隔インストール
 3. 入出庫管理共有
 4. 手順書作成

「情報機器」を
活かす

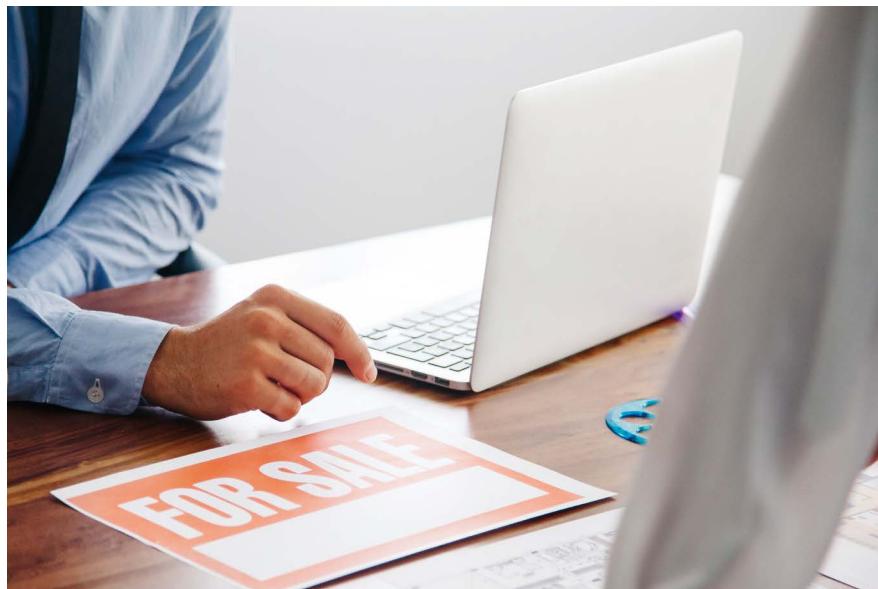
事例

9

不動産業

1,000 店舗分の新品 PC キッティング

旧 PC 売却益と新 PC 導入キッティング費用を 差し引いて入替え費用総額を大幅削減



検討課題

全国に約 1,000 店舗ある賃貸不動産会社様。店舗窓口用の PC と社員用の PC の入替えを隨時行っていた。

該当企業の基幹システムを担当している大手 SIer が入替えも行っていたが、店舗数約 1,000 店舗に加え、社員も約 1,000 名いることから台数が多いため入替え費用の総額が莫大なことになっていた。

店舗窓口用 PC と社員用 PC
合計数千台の入替え

当社がキッティングした新品 PC の
納品時に、入替えた PC を同時回収

解決

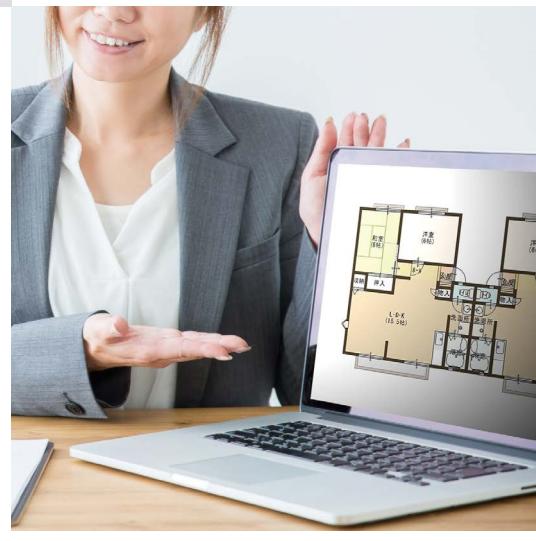
元々入替えた不要 PC を当社が処分しており、今後は入替えとなる新しい PC を当社がキッティングして、入替える PC の回収時に新しい PC を納品するフローを構築。

これにより、処分売却金額と導入費用を差し引いて費用総額を抑えることに成功。キッティング自体の費用も以前と比べて 1/3 まで減少。

2017 年から毎月 100 台前後の PC をキッティングして回収と同時に納品。回収した PC は型番・シリアル・機器管理 No. を取得。新品 PC も同様の管理から入替えた PC 同士を突合して機器管理表を提出。新品 PC は当社に納品いただき、キッティングチームがセットアップ。

□キッティング作業内容

- |-PC 荷受けから保管（隨時）
- |-入出庫管理（検品・各種管理番号取得・新旧 PC 突合）
- |-クローニング
- |-個別設定（ドメイン参加・Outlook データ移行等）
- |-ソフトウェア導入（間取りソフト・Office・不要ソフト削除等）
- |-管理ラベル作成・貼付け
- |-液晶モニター設定
- |-出荷（指示のあった指定店舗へ）



複製するクローニングマシン



液晶モニター
も設定

間取りソフト等
インストール

- POINT
1. 定期キッティング
 2. 入替え全国対応
 3. 費用大幅削減
 4. 納品時に同時回収

「情報機器」を
活かす

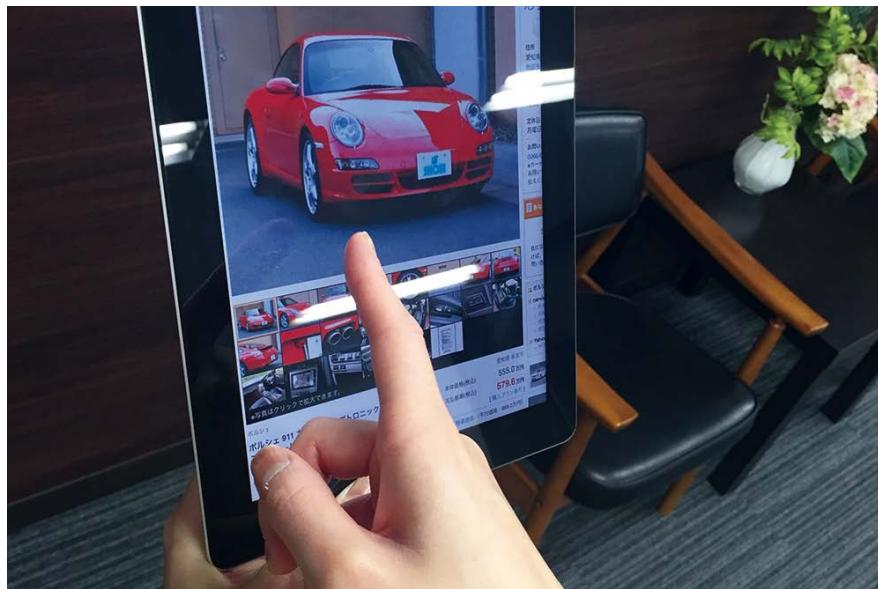
事例

10

中古車販売店

Apple 端末 500 店舗分キッティング

接客用 iPad、社内通信用 iPhone 店舗用 Mac のすべてをキッティング



検討課題

全国に約 500 店舗を持つ中古車販売店は、従来のように敷地内に中古車を展示するだけでなく、全国各地にある保有車を接客時にお客様の手元で紹介したかった。

また、PC と紙に縛られていた業務の改善と査定時に基幹システムへ素早くアクセスする為に、Apple 端末を使用したクラウド共有化を図りたかった。

専用の SE 部隊と
IT センターで全数キッティング

Apple 端末への統一によってクラウド
共有化が実現し、お客様満足度も向上

解決

今まで少人数体制の情報システム室だけで各店舗の端末を用意していたが、出店数に比例して準備する端末も多くなったため当社へキッティング部分をアウトソーシング。

iPad、iPhone、Mac のデバイスを調達する大手通信会社、アプリケーションを開発する SIer、キッティングを行う当社の 3 社で協業し店舗出展計画と共に端末を用意。

キッティング内容を確定させ、大手通信会社からお預かりした新品端末に中古車販売店が使用するアプリケーションをインストールし、マニュアルを同梱して店舗へ配送。

キッティングを担当する当社「キッティング & リペアセンター」では、Apple 端末専用の作業ラインを設け相当数のキッティングを実施。

導入された端末は査定時にも使用し、これにより販売プロセスも簡略化されたため、お客様満足度も向上。

基幹システムデータを Apple 端末で共有し、クラウド化が実現されたため、現場の業務効率も向上することになった。



iPad の特性を
活かし店舗活用

査定業務も
iPad



POINT

1. スマートデバイス対応
2. 専用 SE 部門
3. 専用 IT センター
4. 顧客満足度向上

Apple 端末以外も
すべて対応

「情報機器」を
活かす

事例

11

金融機関

PC 買取と修理・OS アップグレード返却



検討課題

新しい OS の登場により、PC の入替を検討していた。数千台ある PC 全数を新しい PC に入れ替える負担費用が大きかった。

また、先方の情報機器管理部門は全国 200 拠点からの PC 回収と入替作業、廃棄処分管理を行うことに不安があった。

動作テストを経て
OS アップグレード



不要 PC は
買取・回収

管理シールを
貼付け



PDA も同時
買取・データ消去

- POINT
1. 不要 PC は買取
 2. 必要 PC は OS 入替
 3. 故障 PC は修理
 4. 個別設定対応

OS アップグレード返却と、廃棄ではなく
買取によって大幅なコストダウンを実現

解決

新しい PC でお客様が業務上必要としている内容を確認し、
入れ替え対象となっていた PC に関して下記内容を提案。

- ① 古いロースペックの PC は、データ消去と買取。
- ② 新 OS に対応できる PC は、OS をアップグレードして返却。

全国の当社拠点から自社便で PC を回収し、テクニカルセンターで
買取 PC をデータ消去。

新 OS をインストールして返却する PC はデータ移行後に OS を
アップグレード。ハードウェアの劣化及び故障している PC は
修理対応後に OS アップグレードを実施。

アップグレードを施した数千台の PC は、下記の個別設定を行った上でお客様へ返却。

1. IP アドレス
2. コンピューター名
3. サブネットマスク
4. お客様管理番号シール

全台新品調達であれば 1 台数万円も必要だったが、アップグレードによる継続使用での大幅コストダウンと売却による利益還元を実現。新 OS の登場に伴った PC 入替における費用の問題を解決。

「情報機器」を
活かす

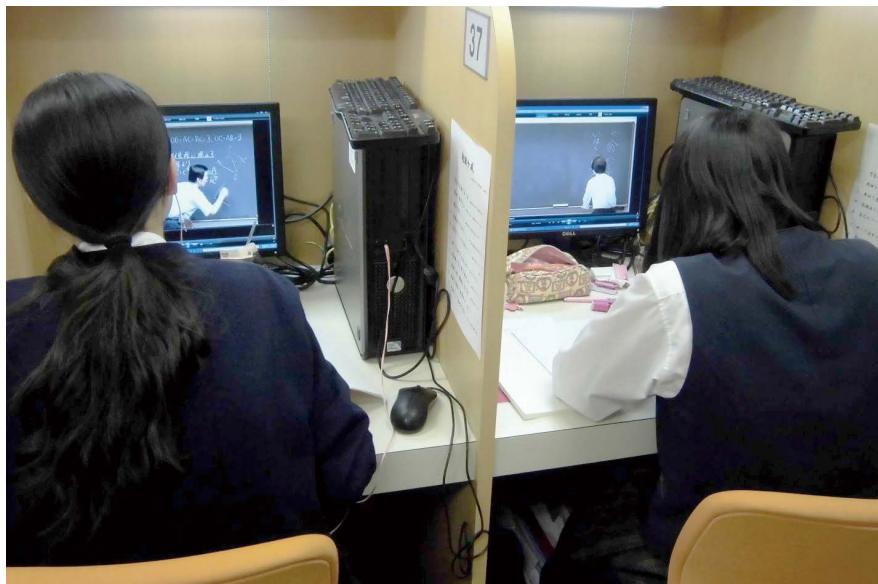
事例

12

学習塾

映像授業用リユース PC 販売

全国にある塾の映像授業向けに 今までに 2万台を販売・設置



検討課題

DVD 視聴による映像授業を行っていたが、更なる授業内容の充実にはコンテンツ内容の更新や時勢に合わせて授業の追加をしなければならなかつた。

製作の手間とコストの観点から映像をデータとしてサーバにアップロードし、生徒が容易にアクセス出来るようにしたかった。

リユース PC を
全国の塾に設置

リユース PC で大幅コストダウン
新品同様の 1 年保証、20 台に 1 台予備機提供

解決

メーカー新品だと端末だけで最低でも 1 台 5 万円は必要となる。更に、生徒のアクセス制限や独自のアプリケーションインストールを施すと、総額 6 万円以上もかかるとのことで、当社のリユース PC 提供と専用 SE で行うキッティングをご紹介。

これにより、当社が提供する PC とキッティングを合わせても、新品を調達するより 1 台 3 万円以上の大幅コストダウンとなつた。

当社法人用のリユース PC は、メーカー新品同様の 1 年保証に加え、提供台数に対する 5 % 分の予備機を無償で提供。

アプリケーションのインストールの他、現地での設置、動作チェック、LAN 接続なども実施。

当社は年間 100 万台以上の企業 PC 買取により同一機種を多く提供することが可能であり、仕入れた PC を 100 項目に及ぶ検査とクリーニングを施し、必要に応じて修理も行つている。



100 項目に
及ぶ検査

徹底クリーニング



POINT

1. 大幅コストダウン
2. 保証 1 年
3. 予備機提供
4. 再生技術

要望通りの仕様に
カスタマイズ

「情報機器」を
活かす

事例

13

人材派遣

企業の IT 研修用レンタル PC

年間 100 万台の買取台数により
同一機種を低価格で長期レンタル



万単位で買取しているため、
同一機種を低価格でレンタル

検討課題

企業の新入社員向けに IT 研修を行っている企業が、大手レンタル会社に研修用 PC を依頼をしていた。

全研修プログラムが完了するまで半年間レンタルすればコストが高く、PC を使用する時だけ使用し都度返却した方がコストは抑えられるが、その手間にも悩んでいた。

法人専門のレンタル体制
企業側のコストと手間を削減

解決

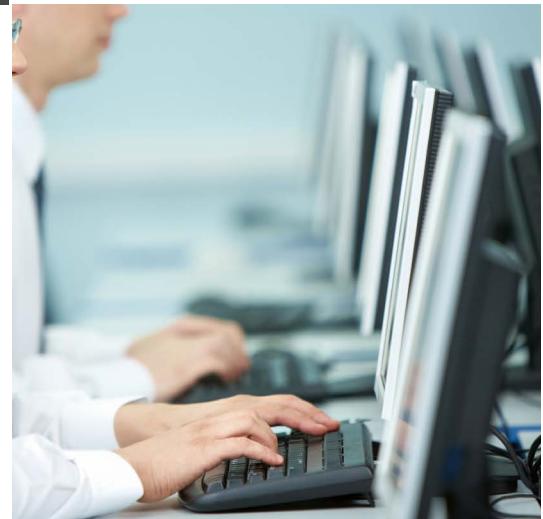
当社は比較的高いスペックの PC や事務作業用 PC 等を、法人専用のレンタル PC として常時在庫している。企業から PC を大量に買取りしていることから、比較的レンタル価格を安価に抑えられるため、半年間という研修期間終了までの PC レンタルにおいてボリュームディスカウントしたお見積りを提出。

更に、研修用 PC に必要なアプリケーションインストールから現地での設置・設定・予備機提供を実施し、返却時の回収からデータ消去までお客様の手間とコストを極力削減できるように下記レンタル内容を提案。

- ① 高スペック PC 端末の用意
- ② 予備機の無償提供
- ③ キッティング
- ④ 現地設置・設定
- ⑤ 自社物流による回収
- ⑥ データ消去

この結果、他のレンタル会社から当社へ切換えていただき、比較的高いスペックの PC 約 600 台を研修終了までレンタル。

これにより研修を行っている企業側は、レンタル費用と手間を削減することに成功した。



プログラミング
実習用のレンタル

イベントや
選挙にも貸出



レンタル PC を
常備

POINT

- 1. 大量同一機種
- 2. 手間削減
- 3. コスト削減

「情報機器」を
活かす

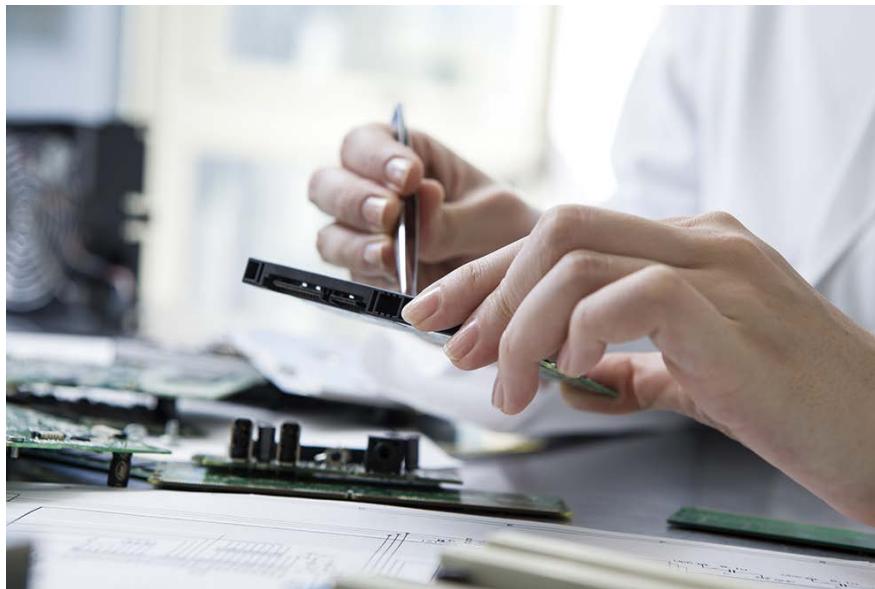
事例

14

保険業

メーカー長期保証切れ PC 修理

業務システム使用の延長により OS 変更できない PC を全台修理

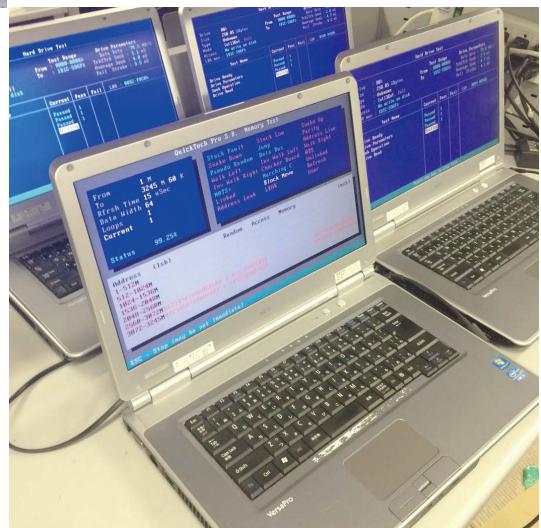


検討課題

保険の本業を IT で支える大手保険グループの PC 管理部門。一部業務システムの PC に古い OS が搭載されており、PC をリプレイスしようにも利用しているシステムが新 OS に非対応のため、PC リプレイスが出来なかった。

端末状態も次第に悪くなり故障も発生していたが、メーカー保証が既に切れしており困っていた。

部位毎に動作チェック
可能な専用ソフト



修理専門
部隊が対応

データ移行後に
HDD 交換



POINT

1. 保守切れ PC 修理
2. 格安リユースパーツ
3. 修理専門部隊

自社物流で
回収＆納品

「情報機器」を
活かす

事例

15

金融機関

電話交換機 PBX、ビジネスフォン買取



大手 IT ベンダーと廃棄業者では
難しい作業当日のイレギュラー対応まで

解決

今までの大手 IT 業者は作業費用も高く、作業範囲も決まっており、事前に打合せした内容以外は対応しないため、店舗移転やレイアウト変更に伴う想定外のイレギュラー事案が頻繁に発生していた。

当社は自社に IT 部門、撤去回収部門、物流部門、買取部門が揃っており作業範囲も広く、急な依頼にも対応できる体制を整えているため、お客様が希望されている臨機応変な作業内容変更や作業追加も専門部隊によって対応している。

本件ではお客様の悩みであった複数業者依頼による作業管理の煩雑さを、当社へ 1 本化する事で問題を解決し、それにより大幅なコスト削減にも繋がった。

本件の主な作業内容

- ① PBX（電話交換機） 撤去回収・廃棄
- ② 電話機 撤去回収・買取
- ③ ネットワーク機器 撤去回収・移送・移設（接続 / ケーブル結束）
- ④ PC オンサイトデータ消去・買取・一部新店舗へ移送・設置

当社撤去後に建設会社、什器納入業者、工事業者などがスムーズに作業に入れるため、担当者側も店舗の作りこみに専念することが出来た。

検討課題

中部地方を中心に約 130 店舗を持つ金融機関。店舗移転時やレイアウト変更時には、不要となる PBX（電話交換機）と電話機等の廃棄と PC やネットワーク機器のデータ消去、店舗間輸送や不要物の廃棄をしていた。

IT ベンダーと地元の廃棄業者に依頼していたが高コストな上、時間と作業領域の制限が多く手間もかかっていた。

ビジネスフォンを 大量に撤去買取



ネットワーク機器 を撤去・移送・移設



PC を買取 一部移送・移設

PBX を 取外して回収

- POINT
1. PBX と電話機買取
 2. 回収→輸送→移設
 3. イレギュラー対応

「情報機器」を
活かす

事例

16

建設業

リプレイス PC の一括保管・仕分け・再出荷

リプレイス時に保管スペースが足りず、 物流倉庫にまで滞留した PC を一括管理



検討課題

全国展開を行っており拠点も多い建設会社。使用しているPCは資産PC、リースPCと分かれていたが、システム導入に伴って一斉リプレイスとなった。

拠点の認識違いにより、リプレイス対象外のPCや無関係の機器まで本社に返却されてしまった事から、保管場所も足りず民間物流会社の営業所・倉庫にまで機器が滞留していた。

本部テクニカルセンターで
一括回収・預かり

滞留したPC類を全て回収しシリアル取得とリスト照合
誤送品・資産売却品・リース返却品に仕分け・納品

解決

営業所や店舗から本社情報システム室宛てにリプレイス対象外のPCや情報機器が返却されてきた為、拠点側でPC不足となっていた。

用意していた保管スペースも圧迫され、民間物流会社の営業所と倉庫にリースPCと資産PC等が混合で滞留され、どの拠点から何の機器が送ってきたか把握が難しい状況にもなっていた。

お客様が困っていることを解決するため、当社が全て一旦回収して本部テクニカルセンターに集約することを前提に下記をご提案。

- ① 本社保管倉庫、物流営業所、物流倉庫に滞留しているPCを回収
- ② 全数シリアル取得と検収後に機器リストを提出
- ③ リスト照合結果により再納品・リース返却品・売却品に仕分け
- ④ リース品の本社返却
- ⑤ 再納品対象拠点に連絡した上で再出荷

3カ所に散らばっていた機器を1カ所に集約しシリアル管理とリスト照合を行うことで発送元の拠点と該当機器が特定され、不足となっていたPCを拠点に再納品することでPC不足を解決。誤送された機器やリースPCも返却し、リプレイス時の混乱した状況も解決。

リプレイス時に発生した問題を解決した事により、次回以降のリプレイス時には拠点連絡・回収を含めリプレイス機器管理を当社が行う事となった。



本部 TC で
一括管理

動作チェック
シリアル取得



拠点再納品と
リース品返却

POINT

1. 本部 TC 一括収集
2. リスト提出
3. 仕分け
4. 本社、拠点返却

「不要品」を
活かす

事例

17

製造業

6 フロアのオフィス不要品撤去・買取

オフィス移転に伴う 6 フロアの 撤去・解体・買取・廃棄をワンストップで



検討課題

事業所を本社へ統合することとなり、それに伴い、事業所側も本社側も 3 フロアづつ退去する必要があった。

統合後にはオフィス家具・什器類を全て新調することから、大量に出るオフィス不要品を全て処分したかったが、売却品と廃棄品の仕分け業務や撤去を行う複数業者の管理業務に對して不安があった。

オフィスにあるモノ
全てを撤去

2 段階査定で引き払いのコスト低減、
ワンストップによる移転撤去

解決

引き払う事業所と、受け入れる本社側の 6 フロア全ての不要品の撤去・解体・買取・廃棄までワンストップで提案。

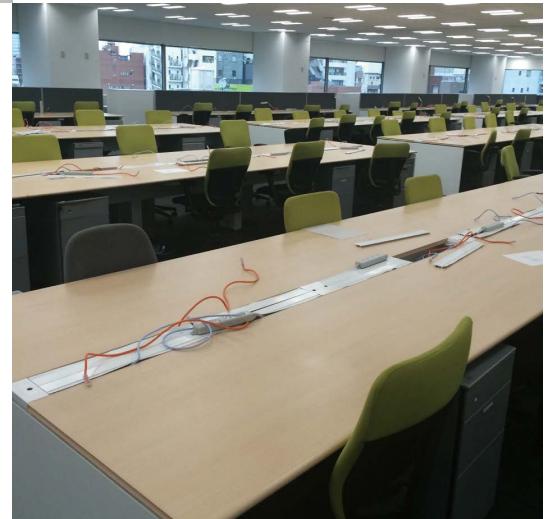
当社における下記オフィス不要品の「リユース・リサイクル 2 段階買取査定及び廃棄処分」により、残置物の引き払い費用を抑えることが出来た。

- ① リユース買取 - オフィス市場で再販ニーズがあるモノ
- ② リサイクル買取 - マテリアル市場で販売価値があるモノ
- ③ 廃棄処分 - 販売が不可能なモノ

先方から提出された不要品リストの確認や現地調査と打合せを重ねた結果、計 6 フロアの引き払いにより相当数の処分アイテムが出る事となった。

作業日数 6 日間、作業人数計 80 名体制を組み、オフィス什器やパーティションを解体・撤去し、6 フロア合計 5,800 アイテムを引き取り。

作業中に不要 PC130 台、携帯電話 60 台（ガラケー）や電話機 600 台、雑線（LAN ケーブル等）も依頼され、同時に引取った。



解体された
什器類

什器の解体・撤去



POINT

1. 2 段階買取査定
2. 解体撤去
3. ワンストップ対応
4. 80 名作業体制

オフィス不要品を
引き取り

「不要品」を
活かす

事例

18

商社

クリーニング工場の撤去・解体・廃棄

専用什器や高圧電線の撤去から 移転、原状回復工事まで請負



検討課題

クリーニング工場と事務所を同じ場所に移転するため、工場設備の解体撤去を行える専用業者を探していた。

外には高圧電線や変圧器等が設置され、中には専用の大型什器があり、それらの解体撤去と原状回復工事までの現場監督含めワンストップで作業を行える業者が必要だった。

専用什器の解体工事 専用車で持ち上げて運搬

現場で特殊什器の解体
高圧電線の撤去工事も実施

解決

お客様が探していた業者は「解体を行える建設業免許を取得しており什器の解体が可能な業者、尚且つ処理場を持つ業者」であることが選定条件だった。当社オフィス工事の保有免許は下記。

- ① 建築一式工事業
- ② 内装仕上工事業
- ③ 一級建築事務所
- ④ 産業廃棄物処分業
- ⑤ 産業廃棄物収集運搬業
- ⑥ 古物商

当社は上記免許により、お客様の条件に応じられるため、本案件では下記の作業を実施。

- ・事務所の引越し
- ・特殊残置物の解体、撤去
- ・買取、廃棄処分
- ・原状回復工事

高圧電線や専門什器が外に設置されているこの工場は、所謂“危険物倉庫”と呼ばれており、安全確実な作業を求められた。

当社は現場監督兼作業業者として、工場外の専門什器類を解体撤去し、工場内のクリーニング機械等の什器類も解体撤去。当社リサイクルセンターに運搬後、マテリアル処理と廃棄処分。



業務用洗濯機

ボイラーや 特殊専用什器



配管も撤去し、
原状回復工事

POINT

1. 危険物倉庫対応
2. 特殊什器の解体
3. 高圧電線の撤去
4. 原状回復工事

「不要品」を
活かす

事例

19

オフィス移転支援業

移転コンサル・引越し業者との協業

企業側が依頼した移転サービス会社から 残置物すべての処分業務を委託



検討課題

企業から移転時のマネジメントを
請け負っている移転コンサルティング
会社。

顧客から請け負っている移転業務の中
で、引き払うオフィスの残置物の売却
と廃棄、オフィス内装解体工事から
原状回復工事まで複数業者が関わる
ディレクションに苦労していた。

現地調査で残置物すべての
有価買取・廃棄処分の査定

解決

移転コンサル会社は残置物の処分を産廃業者と買取業者両方の手配をしなければならず、移転する企業側も複数業者が現地調査や実作業で頻繁に出入りする事にも難色を示していた。

その他にも引き払うオフィスの内装解体工事と原状回復工事業者の手配・管理までする必要があり、移転コンサル会社と企業側は、工程と手間とコストが増えていく一方であった為、一括で行える業者を探していた。

そこで全ての処理が可能な当社と移転コンサル会社・引越しマネジメントサービス提供会社の間で「残置物処理及びオフィス引き払い処理」に対する包括契約を締結し、当社はオフィス移転時に1社で訪問し下記の作業を行っている。

- ① 廃棄残置物の撤去・リサイクル（電子マニフェスト対応）
- ② 有価残置物の買取・回収（家具、什器、パーティション、情報機器類）
- ③ オフィス内装の解体工事（造作部屋やパーティション等）
- ④ オフィス内装の原状回復工事

本作業を当社に委託することにより、移転する企業側と移転コンサル会社・移転サービスを提供している会社側は、複数業者の手配と管理・コストも大幅に削減され、移転先のオフィス作りと移転後の業務構築に集中しやすくなった。



有価物をテクニカル
センターで処理



廃棄物をリサイクル
センターで処理

POINT

- 1. 処分包括契約
- 2. 1社で全て対応
- 3. 電子マニフェスト

電子マニフェスト
にも対応

「不要品」を
活かす

事例

20

販売店

家具チェーン店の引取り家具を定期回収

新品家具納品時に引取ったソファや テーブル、ベッドマット等を毎日回収



検討課題

新品の家具納品時に不要となる家具を引き取っていた家具販売チェーン店。

引き取った家具が日々倉庫に溜まっていた。修理して販売出来る物と廃棄する物に分別していたが、処理が追いつかない状態だった。

また、家具引取り時の梱包材も大量に溜まっていたりそれらの処理にも手間がかかっていた。

新品納品時に引取った 家具が倉庫に山詰み

専用車で朝と夜に毎日回収訪問
引取った全ての家具をリサイクル処分

解決

当社は家具や什器含め全ての不要品を回収する専用車を保有しており、東西に中間処理場も設けている為、定期回収に対応できる体制を整えている。

不要物を「パッカン」に集めて回収する「アームロール車」と、引取り時に物を粉砕して回収する「パッカ一車」、それ以外の荷物を収集運搬する「2t～10t トラック」など計30台程揃えている。

本案件では、家具店が持つ大阪の倉庫と東京の倉庫に引取りされた家具を毎日朝と夜に回収訪問している。

主にソファー、テーブル、箪笥、机、椅子、ベッドマットを中心に混合廃棄物となる家具や木材中心の家具、それ以外とを分別し回収。

回収した家具は東西にあるリサイクルセンターで計量し、計量証明書とマニフェストを発行。マニフェストは電子版にも対応している。

本案件では毎月500tほど家具類を回収しており、最終的に鉄等は原料として再利用するマテリアルリサイクル処理を施し、木材等は燃料として再利用するサーマルリサイクルの処理をしている。



その場で粉碎可能な パッカン積荷回収の
パッカ一車 アームロール車



1日2回
回収訪問

POINT

- 毎日定期回収
- 専用車
- 計量証明書

「不要品」を活かす

事例

21

保険業

災害備蓄品を大量に買取

水や非常食、帰宅用の折り畳み自転車 寝袋等災害備蓄品一式を買取・処分



検討課題

約 900 拠点ある大手生命保険会社。支社が営業所の備蓄品を配布・集中管理していたが、消費期限が迫っていたモノもありこの機に今後は拠点毎に管理し、古いモノを一斉に廃棄する事になった。

食品以外にも災害時用のヘルメットや移動用自転車など処分する物が多く、一括で処理してくれる業者を探していました。

各支社、各営業所には
大量の消費期限間近の災害備蓄品

産業廃棄物中間処理業務の
包括契約の下、本案件も発生

解決

約 100 の各支社が管轄する各営業所に配布していた災害備蓄品の多くが残置物となり、当社が災害備蓄品を置いてある棚等の什器も含め撤去・買取することとなった。

自社便で撤去・回収したモノは下記。

- | | |
|-----------|--------------------|
| ① 水 | 約 3,000 ℥ |
| ② 非常食 | 約 4,000 パック |
| ③ 寝袋 | 約 100 個 |
| ④ 折り畳み自転車 | 約 100 台 (帰宅や拠点連絡用) |
| ⑤ 携帯トイレ | 約 10,000 個 |
| ⑥ 軍手 | 約 1,000 組 |
| ⑦ ヘルメット | 約 1,000 個 |
| ⑧ ライト | 約 1,000 個 |
| ⑨ 文房具 | 約 500 セット |
| ⑩ 紙コップ | 約 5,000 個 |

ヘルメットやライトなどは廃プラスチックとして処分。折り畳み自転車などは鉄の原料として再利用するマテリアル処分。

この他、全国に点在する支社からは来客用のカウンターテーブルや会議室の机・椅子等も同時に引取り。



消費期限が迫る
水約 3,000 ℥



不要となつた
折り畳み自転車

寝袋も回収

POINT

1. 災害備蓄品買取
2. 包括契約
3. 食品・自転車

「不要品」を
活かす

事例

22

建設業

移転に伴う残置物回収・機密書類溶解

2t 車 50 台分の残置物回収 機密書類は溶解処分



検討課題

計 600 坪、500 名程が働いていた建設会社の本社が、新たに自社ビルを建てて移転することになった。

新社屋に相応しいオフィス家具・什器類を新調するため、大量に残置物が出来ることになった。

また、これを機に機密書類も同時に処分したかった。

自社トラック、自社スタッフで
約 1 週間で作業完遂

旧本社ビルの全フロア 1F ~ 4F まで
約 100t の残置物を撤去回収

解決

現地調査から約 100t 分の残置物回収となることを確認。当社の 2t トラックを 1 日 7 台出動させて、旧本社ビルの 1F ~ 4F までの残置物を全て回収することになった。

長年使用してきたオフィス家具・什器の場合には、市場で再販ニーズがないモノが多くあった。それら廃棄処分物には“バッカン”と呼ばれるコンテナを各所に設置し、そこに廃棄物を入れて廃棄物専用のアームロール車で運搬。

残置物の 2 割が機密書類であり、セキュリティ対策を施した自社トラックで自社スタッフが回収。専用施設にて溶解処理し、紙資源としてリサイクル。お客様には溶解処理証明書を発行し提出。

オフィス家具、什器などは 25 年使用していたため廃棄処分をする必要のあるモノが多く、マテリアル化出来るモノは当社センターで品目毎に中間処理を施しリサイクル。

廃棄処分のモノはマニュフェストを発行して最終処分場へ。リユース市場でニーズがあるモノは再度市場へ導入した。

機密書類含め、オフィス残置物の撤去回収から処分まで全てを当社が実施し、移転後には大量に贈られた胡蝶蘭の処分も請負った。



2t 車 50 台分
2 割が機密書類

廃棄物専用の
アームロール車



機密書類の
溶解処理

POINT

1. 自社トラック
2. 自社スタッフ
3. 溶解処理

「不要品」を
活かす

事例

23

印刷業

業務用大型印刷機の解体撤去・空調撤去

全長 8m の資産印刷機を解体・リサイクル
全長 5m のリース印刷機を分解・返却代行



検討課題

高品質で美しく仕上がるよう業務用オフセット印刷機でパンフレット等をDTP制作から印刷まで行っている大手印刷会社。

移転に伴い全長約8mもある資産印刷機を処分し、リース印刷機も返却する必要があり、その他自社ビル移転に伴い建物付帯設備も処分しなければならなかつた。

撤去工事作業を安全に手早く
行うために綿密な現地調査

解決

新オフィス・プリントセンターに移転することが決まり、印刷機も刷新することになった。現在使用している業務用の全長8mもある巨大な印刷機の搬出と処分を通常の不要品処分業者では出来ず、移転担当者は困っていた。

印刷機の中には約5mのリース品も含まれており、返却をする必要があった。また、空調設備のエアコンと室外機の取外しと処分、貯水タンク撤去も必要とされた為、細密な現地調査を数度行った上で撤去工事を実施。

- ① 資産印刷機の解体工事・撤去・リサイクル処分
- ② リース印刷機の分解工事・輸送・組立て返却
- ③ エアコン撤去工事
- ④ 室外機撤去工事
- ⑤ 貯水タンク撤去工事
- ⑥ 什器処分（机・椅子等）
- ⑦ PCリユース買取

リサイクル処分とする資産印刷機は溶断バーナーで接続部分を解体し搬出。屋上にある室外機や貯水タンクは簡易エレベーターを設置し荷卸しして搬出。

懸案事項だった大型印刷機と建物付帯設備の撤去を同時解決した。



エアコンの
撤去工事

貯水タンクと室外機
撤去工事



荷卸し用の
エレベーター設置

POINT

1. 印刷機分解・解体
2. エアコン撤去
3. 貯水タンク撤去
4. 簡易エレベーター

「不要品」を
活かす

事例

24

大学

廃校となった大学の残置物撤去・回収

校舎内、学生会館、職員宿舎、学生寮、倉庫などに残された家具・什器・設備類を全て撤去



大型の什器や備品は専用車両で破壊圧縮
作業期間 1ヶ月、200t 以上の搬出に

検討課題

複数のキャンパスを持つ大学が、地方のキャンパスを都心に移転するため、廃校とした。

移転先のキャンパスは都心に相応しいコンセプトで新しく作るため、廃校となったキャンパスには相当量の家具や什器、建物付帯設備などが残った。量と種類が多い為、複数の業者管理と廃棄費用に悩んでいた。

ユンボクラッシャーで
廃棄品を圧縮解体



解決

古いキャンパスだったため、移転先で使用する家具や什器・備品は少なかった。そのため数多くの廃棄物がそのまま残置物となっていた。廃校の廃棄品管理側の管理負担軽減と費用軽減となるよう下記を提案。

1. 三段階評価査定による費用軽減

- トリユース買取
- トリサイクル買取
- 廃棄処分

2. 一業者のみで家具・什器・備品の撤去

- 各種専用車両での撤去搬出
- 作業員 20名体制で 1ヶ月完工

机、椅子など木屑・混合廃棄物をパッカー車で破碎し搬出。パッカントリユースされたモノはアームロール車で搬出。大型の備品類は移動式クレーン搭載のユニック車で3階建て校舎から荷卸し。荷卸したモノをユンボクラッシャーで圧縮解体後、フォークリフトを使用し 2t トラック、4t トラックで搬出。

その他、音楽室にあるピアノや研究室にある顕微鏡などの備品類、食堂の食器類、各部屋のカーテン類や修繕用のタイル等全て撤去搬出。1社で廃棄まで行うことにより作業と費用の大幅軽減となった。



音楽教室の
ピアノも撤去



渡り通路から
地上に荷卸し



荷卸しは
ユニック車

POINT

1. 三段階評価査定
2. 一社で廃棄まで
3. 専用車両
4. コスト削減

「不要品」を
活かす

事例

25

スーパー

POS レジ、釣銭機入れ替え回収

レジ台含め 300 店舗以上から
店舗機器 15,000 アイテム買取



検討課題

300 店舗以上を持つ大手スーパーが、新システムの導入に伴って POS レジや釣銭機のリプレイスを検討していた。

その他にも廃棄物が溜まっており、スムーズに回収・運搬が行え、対象物全てに対応出来る業者を探していた。

1 台 25kg の釣銭機
4,200 台

お客様が費用をかけて
廃棄していたモノを当社が買取

解決

「不要品なら全てを取扱う」当社は POS レジ、釣銭機の買取を提案。

今まででは費用をかけて廃棄業者に処分依頼していたモノを当社が買取ることとなり、お支払した上で全てのモノを回収。

POS レジと釣銭機以外にも、入れ替えに伴い不要となるレジ関連一式も買取。

買取・回収したモノは下記。

① POS レジ	約 2,500 台	20kg/1 台
② 釣銭機	約 4,200 台	25kg/1 台
③ 会計スキャナー	約 1,500 台	15kg/1 台
④ 対面レジ台	約 2,500 台	87kg/1 台
⑤ レジ袋ストッカー	約 3,000 個	5kg/1 台
⑥ UPS	約 500 台	20kg/1 台

お店を稼働しながら入替を行うため、1 週間で 20 店舗ずつ訪問し隨時回収。買取った POS レジ等は当社リサイクルセンターまで運搬。機器を解体してマテリアル処理。

廃棄ではなく買取することにより、他の店舗設備投資に貢献できる結果となつた。



レジ台含め全て
買取・回収

会計スキャナー



レジ袋ストッカー

POINT

1. レジ一式買取
2. 廃棄品を買取
3. リサイクル

「不要品」を
活かす

事例

26

金融機関

入れ替えに伴い ATM150 台撤去回収

ATM を取外して 10t トラックで回収
中のデータを消去し、物理破壊



検討課題

新システムへの移行に伴い
ATMを入れ替える必要があった。

ATMの撤去回収と処分コストが毎回
相当かかることに銀行側は悩んでいた。

だが、ATMは特殊な機器であるため、
業者の選定にはATM撤去技術・実績
及び中のデータ消去技術があることも
必須条件だった。

導入メーカーと連携し
取外して撤去回収



解決

全国自社物流網を構築し、各地で様々な撤去業者と連携している
当社は、ATMの取外し技術と実績を有する業者と撤去回収から
中に入っているデータの消去、リサイクル化までを金融機関に提案。

ATM導入メーカー（システム導入会社）と連携し取外して撤去。
取外したATMは、1台250kg～最大500kgにもなるため、
10tトラックで回収。

ATMの中に入っているHDDを取り外した後、当社の保有する
専用ソフトによりデータを完全消去し、更に物理破壊を実施。

今までATMの入れ替えに伴うATMの処分には、相当な費用が
かかっていたが、当社は資源買取のためお支払して撤去回収。

お客様のATM入れ替えに伴う費用問題は、コストダウンを
飛び越え、売却利益を産み出す結果となつた。

今までにATM150台の撤去・回収・買取を実施。
買取したATMはリサイクル処分しマテリアル化。



ATM取外し



10t トラック回収



様々なATMに対応

POINT

1. ATM取外し
2. 特殊専用機器回収
3. 資源買取
4. リサイクル

「不要品」を
活かす

事例

27

ホテル

10 フロア 320 客室のホテル備品撤去

フロアリニューアルに伴い ソファや木製家具など全て撤去



検討課題

水回りや家具などを新調することとなり、この機に対象となったフロアの客室をリニューアルすることになった。

客室の木製家具を中心としたインテリア類をはじめ、客室にあるその他の備品も全て撤去したかった。他フロアを稼働させながらの撤去作業となるため、きめ細かい対応が可能な業者を探していた。

1 フロア 20 名体制で
撤去・搬出

ホテルの稼働時間に合わせながら、
建物に傷をつけないよう丁寧に作業

解決

ホテルに宿泊するお客様とホテル側に万が一の不快感も与えないよう、作業時間はホテルに宿泊するお客様のコアタイムとなる夕方～夜と朝の時間帯を避け、昼間の作業を提案。

10 フロア（10 階分）で合計 320 の客室があり、1 フロアにつき 32 客室あるため、2 フロア 64 客室を 3 日間ずつかけ、断続的に計 320 客室の撤去を行う作業工程とした。

壁・床・通路全てにしっかりした養生を施し、大型の木製家具を中心に撤去、自社物流トラックで搬出。

撤去搬出した物量は、10 フロアで 4t トラック 70 台分となった。撤去したモノは主に下記。

- ① ソファ
- ② 机
- ③ 椅子
- ④ ベッドヘッド
- ⑤ カーテン
- ⑥ その他備品（時計、ランプ、カーテン、ヘルスメーター等々）

1 か月で 10 フロア 320 客室の撤去を完遂し、ホテル側からきめ細かい対応とコストパフォーマンスに高い評価を頂いた。



ベッドヘッド

木製家具以外にも
カーテン等の備品も



10 フロア
計 320 客室

POINT

- 1. 稼動時間に合わせる
- 2. 全てに養生テープ
- 3. 低コスト

「不要品」を
活かす

事例

28

病院

病院一棟 500 病床の不要品撤去買取

MRI や X 線装置、電動ベッドまで
10 階建て病棟の全てを撤去買取



検討課題

病床が 500 床あり 1,000 名が働いている病院と、400 床ある大型の病院が統合移転することとなった。移転先で使用しない医療機器や設備が残置物として大量に出るため、その全ての廃棄処分を検討していた。

病院の残置物は、高度医療機器・情報機器・産業廃棄物が混在しており、一元で処分が出来る業者を探していた。

高度医療機器である
MRI や CT、X 線装置

地下 2 階から地上 8 階まで
1 か月かけて全て撤去

解決

MRI や CT、X 線装置等の高度医療機器取扱及び販売許認可を取得している業者と、情報機器と不要品をリユース・リサイクルする当社が病院側へ「医療機器・情報機器・不要品・その他什器類の撤去買取」を提案。

地下 2 階から地上 8 階まで、病床 500 床の 1 棟全ての不要品の撤去回収を 1 か月かけて実施。

撤去買取した主なモノは下記（一例）。

- | | | |
|----------|--------|----------------|
| ■ 高度医療機器 | ■ 情報機器 | ■ その他不要品 |
| ① MRI | ① PC | ① 電動ベッド |
| ② CT | ② サーバ | ② パーティション・机・椅子 |
| ③ X 線装置 | ③ モニタ | ③ その他什器類 |

今まで病院側は医療機器と不要品の処分を、複数の廃棄業者に依頼して廃棄費用をかけていた。本件では当社が元請として適正に買取ることによって、病院側は売却利益の取得を実現した。

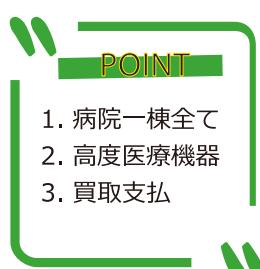
日本では品質上まだ使用可能な医療機器が産業廃棄物として廃棄されているのが現状だが、当社では医療機器も買取資産として適正に評価買取し、リユース・リサイクルしている。



顕微鏡や
心電図も買取



電動ベッドも
撤去買取



10 階建て 500 床
全てを撤去

POINT

1. 病院一棟全て
2. 高度医療機器
3. 買取支払

「オフィス」を
活かす

事例

29

コンサルタント業

周年記念のオフィスリフォーム

オフィス内部の解体後に

一からオフィスのフルリフォーム



検討課題

40周年を記念して約550m²あるオフィスのリフォームを実施し、全ステークホルダーに今後の更なる発展を示したかった。

オフィス内全てのフルリフォームとなるため、解体撤去工事や今後に相応しい洗練されたデザイン設計、良質な家具の調達等全ての進行管理及び工事まで行える業者を探していた。

オープンフレーム化して
効率を上げる会議室

周年コンセプトに沿った
フルリニューアルを完工

解決

当社は発注側から直接工事を受託する元請業者として、各種工事を行う下請けを管轄する「特定建設業」の許認可を取得しており、一級建築士のもと建築工事全般を行っている。

本案件では、「記念に相応しい今後飛躍するオフィス」と云うコンセプトの基、周年リフォームをプロジェクト化。役員や従業員へのヒアリングを先ずは実施し、明確なオフィスリフォーム設計内容を確定させ、記念に相応しい洗練された内装プランを作成した上で良質な家具や什器を選定した。

その後フロア全てを解体撤去。一からオフィス創りを開始。各種専門業者の監督・管理を行い、オフィスをフルリニューアル。本プロジェクトでの工事作業は主に下記。

- ① 仮設工事
- ② 解体撤去工事
- ③ 軽鉄間仕切工事
- ④ 家具・木工事
- ⑤ 金物工事
- ⑥ ガラス工事
- ⑦ 塗装工事
- ⑧ 内装仕上工事
- ⑨ サイン工事
- ⑩ 石工事
- ⑪ 電灯・コンセント工事
- ⑫ パーティション工事

1年かけてフルリフォームを行った本プロジェクトによって周年に相応しく、今後の飛躍を期待させるオフィス環境を創作。

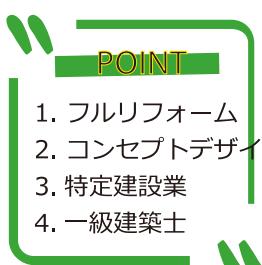


ラウンジのような
待合室



解放感のある
商談スペース

重役の執務室



POINT

1. フルリフォーム
2. コンセプトデザイン
3. 特定建設業
4. 一級建築士

「オフィス」を
活かす

事例

30

製造業

オフィス新設工事の“プロマネ”

低コストでオフィス創りの要望に 応えるプロジェクトマネジメント



検討課題

手狭となった本社の移転が計画されていたが、同じビルに空きが出来たため空きフロアに借り増しをすることとなつた。

借り増しの新設工事を行うにあたり下記の要望が出ていた。

経営陣からの要望は「低コスト」
担当者からの要望は「綺麗に」だった。

パーティション工事や
スライディングウォール工事

家具と什器を新品とリユース品でコストダウン
避難経路の設計及び法令遵守のマネジメント

解決

オフィスから情報機器や家具・什器等の不要品を買取してリユース・リサイクルを行っている当社は、新設する本オフィスの家具と什器の購入に関して“新品”と“リユース品”を設置場所に応じて調達する事で、新調費用を抑えた提案を行う。

お客様から見えるところは優先的に“新品”を調達し、ロッカーや棚、作業机、椅子などは“リユース品”とした。

当社の専門スタッフが経営陣と担当者の要望をヒアリングした上で、レイアウト図面を作成し提出。下記の各種工事作業もコストを抑えながら、オフィス作りをワンストップでマネジメント。

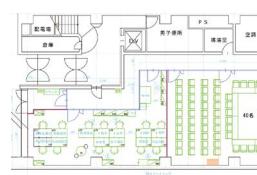
- ① 家具の調達（新品 & リユース品）
- ② 什器の調達（新品 & リユース品）
- ③ 間仕切り工事
- ④ スライディングウォール工事
- ⑤ パーティカルブラインド工事
- ⑥ セキュリティロック工事
- ⑦ 電気工事

避難経路設計を含め法令遵守を第一にマネジメントし、お客様からはコストパフォーマンスに関して高く評価された。



間仕切り工事

電気工事



要望に沿った
図面作成

POINT

- 1. リユース品
- 2. コスト優先
- 3. 避難経路設計



「情報機器」を活かす



「不要品」を活かす



「オフィス」を活かす

テレビ局

事例

31

(プロジェクトマネジメント)

グループ会社含め計 7 社の引越し PM

7 社の残置物回収と引越し 原状回復工事までマネジメント



検討課題

テレビ局本社と関連グループ会社 6 社が、グループ全体の業務効率を目的として本社付近に引っ越すこと。

同時期に 6 社を本社付近の新たなビルに移転させる必要があり、引越し作業の他情報機器を含めた残置物の処分と、退去するオフィスの原状回復工事も必要だった。

点在していたグループ会社 すべてを本社付近に移転

解決

当社は以前からリース PC のデータ消去や返却代行業務を請け負っており、その他什器の解体・買取も行っていた。

当社の自社物流は、情報機器とオフィス家具什器の撤去回収や、本件のように、お客様の移転・引越し作業含めた移転工程管理まで行う物流体制を整えている。

本件では受入側の本社とグループ会社 6 社の計 7 社の移転プロジェクトマネジメントを受注。

2 か月で 7 社全ての移転に関する下記作業を完遂。

- ① 什器解体・撤去・回収・移送（買取及び廃棄処分）
- ② 家具の撤去・回収・移送（買取及び廃棄処分）
- ③ PC やサーバのデータ消去・回収・買取
- ④ 自社物流による引越し
- ⑤ 原状回復工事

オフィス移転時の残置物撤去買取、引越しや移設を当社 1 社で完遂したことにより、テレビ局からワンストップの利便性を高く評価頂いた。



情報機器と 家具・什器回収

7 社の 引越し作業



移転後の 原状回復工事

POINT

1. 引越し対応
2. 原状回復工事
3. 解体移設
4. ワンストップ



「情報機器」を活かす



「不要品」を活かす



「オフィス」を活かす

保険 / 証券

事例

32

情報機器・不要品・オフィスを活かす

情報機器・不要品をリユースリサイクル オフィス創りまでワンストップで支援



検討課題

両社共に PC やサーバ等のリプレイス時には機器を廃棄処分しており、移転時にも不要となった家具や什器類を全て廃棄処分していた。

併せて情報機器の手配やセットアップ、ネットワークのインフラ整備コストも見直したかった。

オフィス創りも複数業者発注のため、施工管理が煩雑な状況となっていた。

環境対策となる リユース・リサイクル

リプレイス時、移転時のワンストップソリューション
リユースで Co2 排出削減、リサイクルで再循環

解決

当社は PC やサーバ等のリプレイス時には、廃棄ではなく「リユース買取」を行っており、リユースによる Co2 削減効果証明も提出。

情報機器のリプレイス時には、両社共に都度全国回収を実施。
1 社は離島含め約 800 抱点から自社便回収。サーバは SE による
アンマウント作業とオンサイト（現地）消去を実施。
情報機器のデータ消去後には消去証明書を発行。

情報機器導入時には、セットアップ（キッティング）を安価で行い
ネットワーク構築、LAN 工事、リユース PC のレンタルまで実施。

先方の移転時に不要となった家具や什器の残置物に対しては、
廃棄処分ではなくお客様に売却利益を還元出来るように
「リユース・リサイクル買取及び廃棄処分」を実施し、
廃棄物にはマニュフェストを発行（電子版も対応）。
両社合わせて今までに 100 抱点以上から不要品を撤去し買取。

また、移転先への引越し作業、レイアウト図面作成、造作パーティション・空調・電気・LAN 等の各種工事から、クロス・壁紙張り、タイルカーペット施工、看板（サイン）制作、旧オフィスの原状回復工事等、総合的にオフィス創りの支援も行っている。



撤去回収する
自社全国物流網



情シスを支援する
IT ソリューション



自社の建設機能で
オフィス創り

POINT

1. 環境対応
2. 物流機能
3. IT 支援
4. オフィス創り